【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【公開番号】特開2016-165606(P2016-165606A)
【公開日】平成28年9月15日(2016.9.15)
【年通号数】公開・登録公報2016-055
【出願番号】特願2016-122943(P2016-122943)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成29年6月27日(2017.6.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
演出において動作可能に設けられた可動役物と、
演出において発光可能に設けられた発光手段と、
を備え、
前記発光手段は、前記可動役物の動作を確認する場合の確認結果を演出の場合とは異なる発光態様で報知することを特徴とする遊技機。
【請求項２】
演出において動作可能に設けられた可動役物と、
演出において発光可能に設けられた発光手段と、
を備え、
前記発光手段は、前記可動役物の動作を確認する場合の確認結果を発光態様で報知し、確認結果が所定の場合でない場合に当該発光態様以外の他の発光態様で報知することを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明が適用される遊技機は、演出において動作可能に設けられた可動役物（例えば可動役物１１５）と、演出において発光可能に設けられた発光手段（例えば枠ランプ１５７，１５７ａ，１５７ｂ，１５７ｃ，１５７ｄ）と、を備え、前記発光手段（例えば枠ランプ１５７，１５７ａ，１５７ｂ，１５７ｃ，１５７ｄ）は、前記可動役物（例えば可動役物１１５）の動作を確認する場合の確認結果を演出の場合とは異なる発光態様で報知することを特徴とする遊技機（例えばパチンコ遊技機１００）である。
また、本発明が適用される遊技機は、演出において動作可能に設けられた可動役物（例えば可動役物１１５）と、演出において発光可能に設けられた発光手段（例えば枠ランプ１５７，１５７ａ，１５７ｂ，１５７ｃ，１５７ｄ）と、を備え、前記発光手段（例えば

枠ランプ１５７，１５７ａ，１５７ｂ，１５７ｃ，１５７ｄ）は、前記可動役物（例えば可動役物１１５）の動作を確認する場合の確認結果を発光態様で報知し、確認結果が所定の場合でない場合に当該発光態様以外の他の発光態様で報知することを特徴とする遊技機（例えばパチンコ遊技機１００）である。